

講義科目名（コース名）	ミクロ経済学 マクロ経済学
名前	藪内 繁己

プリントの形で講義ノート配布し始めてから 20 年くらいになります。経済学の（特に理論的な分野での）講義は込み入っていて、板書することに気を取られていると聞くことがおそろかになり、また図や数式が複雑で教室の後ろのほうにいる学生や視力の弱い学生が正確にそれらを把握できない、といったことについての対応策をいろいろと考えた末の取り組みでした。講義ノート自体はおおむね好評でしたが、難点はそれを利用せず依然として板書をする学生が結構いることでありました。講義ノートを利用して板書はメモ程度にとどめ、講義に集中してもらいたいという意図でしたが、小・中・高の長年の習慣は根強く、あまり有効ではないこともありました。この点については、講義中に根気強く「これからこの部分を説明します。」とか「この点は講義ノートに書いてあります。」というコメントをする必要があります。

ともあれ、この講義ノートの配布方法を 5 年くらい前から自身のホームページに掲載し学生自身にダウンロードしてもらう方式に切り替えました。一般の検索や教員名簿からのアクセスに加え、昨年から Moodle からのルートも加わり学生の便宜を図っています。講義ノートのおかげで講

義に集中でき、また予習復習にも便利であるという学生からの声を聞く一方で、問題点も表れてきています。その一つは、学生は携帯についてはほぼ全員それを使いこなしていますが、パソコンについてはかなりの個人差があり、講義ノートを長い間（あるいは最後まで）ダウンロードしない人がいるということです。もっともこれはパソコンの問題ではなく、全般的な意欲の無さかもしれません。講義の内容の理解は個人差がありますが、講義ノートをダウンロードしテキストを購入することは能力に関係なくだれでもできることなので、せめてこの最低限の準備はするようにと指導していますが簡単ではありません。このことに関連して、講義ノートの Web 上での配布の問題点は、意欲のある学生とそうでない学生の主体的な取り組みの差を一層助長し、最終的な理解と試験の成績についての二極分化傾向を促進しているかもしれないということです。どちらかといえれば成績下位の学生にこそ有効に利用してほしいと思っていますが、そのためにはもう一工夫必要かもしれません。小テストなど Moodle の他の機能を組み合わせ、一層効果的な利用法を考えていきたいと思っています。